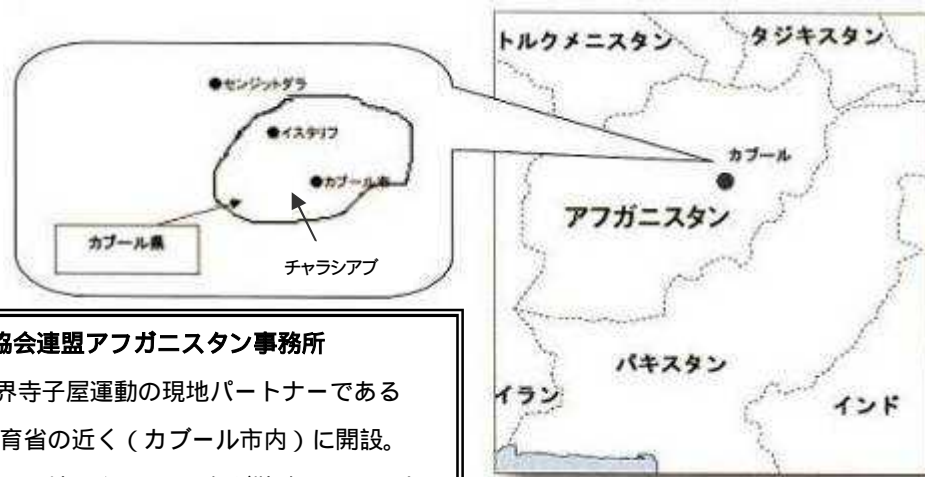


アフガニスタン 教育支援情報



日本ユネスコ協会連盟アフガニスタン事務所

2002年11月、世界寺子屋運動の現地パートナーであるアフガニスタン教育省の近く（カブール市内）に開設。
現在、日本人3名と現地スタッフ12名が勤務しています。

卒業、そして入学 - カブール郊外の寺子屋の現況

カブール市郊外の3つの寺子屋 - イスタリフ、チャラシアブ、センジットダラの3地域では、7月から9月にかけて、それぞれのクラスがコース修了日、そして新しい学習者のための新学期を迎えました。

イスタリフでは、約1年間、識字クラスで学び、3冊の教科書を学び終えた94人の学習者（10歳～40歳、男45名、女50名の混成クラス）が、7月に寺子屋を卒業しました。

またチャラシアブ、センジットダラでもそれぞれ125人、30人が卒業しました。

それでは、どのように卒業認定されるのでしょうか？ - アフガニスタンでは全国統一の識字クラス修了認定試験というものはありません。識字クラスの先生が教科書の教科書の内容もしくは教科書と同レベルの読み書きと計算テストを実施し、各先生が定めた基準をクリアした場合、「この学習者を識字者とみなす」とされます。

そして、識字者として卒業した人は、希望によって小学校の4年生に編入することができます。中には、同じ寺子屋で行われる「職業訓練のクラス」（ミシンや洋裁の研修）に通い始める人や、寺子屋を運営するボランティア委員になる人もいます。

修了式では、識字局から発行された修了証書が一人ひとり手渡され、嬉しさをかみしめた子どもや大人の笑顔が輝きます。



識字クラスを去りゆく人がいる一方、新しく識字クラスに来る人もいます。この9月から、イスタリフでは、8つの識字クラス（登録195人）と1つの職業訓練クラス（皮細工・登録10人）、チャラシアブでは、8つの識字クラス（登録182人）と2つの職業訓練クラス（洋裁・登録25人）、センジットダラでも5つの識字クラス（登録121人）と1つの職業訓練クラス（洋裁・登録15人）がスタートしました。それぞれ机に、または作業台に向かう日々を送っています。

詳しい情報が入り次第、またご報告します。ご期待ください。

過去のアフガニスタン教育支援情報は [こちら](http://www.unesco.jp/afghanistan/topics.htm)
アフガニスタン事務所のホームページは [こちら](http://www.unesco.jp/afghanistan/index.html)